

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年2月1日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO33

校長 月原 浩

令和5年度 CS春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

教師の為の避難訓練 ご協力ありがとうございました



19日(金)に教師の為の避難訓練(オンライン授業)を行いました。それに伴い、時制の変更や早めの下校、タブレットの持ち帰りなど、保護者や児童の皆さんにご協力いただき感謝しております。



この訓練は、自然災害時等で登校できない時、可能な状況であれば、学校や自宅からでも教師が授業を配信できるよう、環境面を確認したり、授業配信のスキル維持やアップをしたりするために行いました。天神山の職員は、この技術に長けており昨年度、新型コロナウイルス感染症の為に学級閉鎖になった時にも積極的にオンライン授業を行っていました。毎年職員も入れ替わりますのでスキルの伝承の意味合いが強いです。

学校では、ICTの専門家にも1年生から授業に入ってもらい、タブレットの使い方を学んでいます。子どもたちや職員たちの柔軟性に驚くばかりです。私は、とても使いこなす自信がありません・・すごいなあ、素晴らしいなあと感じさせられるだけです・・

このタブレットは道具として様々な価値があります。学習場面では友達の考えや作品、動きなどを見ることができ、自分の考えを付加修正強化できます。またじっくりと友達の作品鑑賞もできます。調べたいことがあればネットで検索できます。さらにタブレットドリルが入っており学年をさかのぼって復習をしたり、次の学年の内容も予習できたりします。そして今回のようにオンラインでつなぎ意思疎通が可能です。「学びを止めない」環境整備はできつつあると思います。

私は、まず学校が子どもたちにとって安心できる居場所であって欲しいと願っています。しかし何らかの理由で学校に足が向かない子どもたちもいます。最近NHKスペシャルで不登校問題を取り上げていた番組もあっていました。日本の不登校児童は30万人に達しようとしている現実があります。私は校長として、まず子どもたちにとって魅力ある学校をつくりたいと思っています。学校に行けない子どもたちにとっては待ったなしなので、オンラインや別室、市の支援センターやフリースクール・・とにかく子どもの受け皿を増やしてあげる必要性を感じています。